

「消費税 いま上げるべきではない」5・24中央集会 集会アピール

いま、深刻な消費不況が続いています。2014年の消費税8%への増税以降、家計消費は25万円も落ち込んでいます。国民の実質賃金は10万円も落ち込みました。中小企業の減少にも歯止めがかかっていません。

この間の統計から、政府もいよいよ景気悪化を認めました。

世界経済の先行きも、米国と中国間の貿易摩擦の深刻化など、不透明さを増しています。

いま、消費税を増税できる状況にないことは、誰の目にも明らかです。10月の消費税10%への増税は、暮らしと生業を、地域社会を、そして国を破滅に導くものでしかありません。

政府が多額の費用を投じて実施しようとしている消費税増税「対策」は、一時的で、対象も限定されています。「軽減」税率と言われるものの効果も、負担に比べれば極めてわずかです。その「恩恵」は所得の高い人ほど大きいことは、財務省も認めています。政府がお墨付きを与えたことによって、8%に据え置かれるはずの飲食料品なども軒並み値上げされ、家計を直撃しています。

対策というならば、「10%ストップ！」こそ最大の対策であり、10月増税の是非について衆参の予算委員会で徹底した審議を行うべきです。

今日、私たちは「10月の消費税増税ストップ！」の一点で思いを共にし、ここ日比谷野外音楽堂に集いました。

いずれは増税が必要と考える人、税率引き下げを求める人、消費税そのものに反対の人など、考えの違いを超えて、「いま上げるべきではない」という声広がっています。

私たちは、次のことを政府に求めます。

「消費税 いま上げるべきではない」。

「10月消費税10%増税ストップ！」。

国民のみなさん。

10月の消費税増税は、まだ止められます。

夏の参院選も控え、与党の中からも増税中止は「まだ間に合う」との発言が出ています。

政府に増税中止を決断させるのは、私たち一人ひとりの声です。

「いま上げるべきではない」の署名を、ぜひお寄せください。

6月12日に署名提出集会を国会内で開きます。

それぞれの地域から、「10%ストップ！」の署名を、世論を、さらに大きく広げていきましょう。

2019年5月24日

「消費税 いま上げるべきではない5・24中央集会」参加者一同